

フィールドワーク(地理B)

5月11日(火)1時間目、地理B(2B)でフィールドワークに出かけました。授業で地形図の読み取りや地図記号について学習した後、町内に出ての等高線の読み取りや土地利用について学習しました。

最初に、1636年(寛永13年)22歳で本山の領主となった野中兼山の治世の遺構、用水路(上井、下井)を見学しました。次に、野中兼山が京都より山崎闇斎を招いて土佐南学について講義した古寺跡、上の坊(うへのぼう)にも足を運びました。また、等高線の読み取りでは、標高310m付近にある十二所神社に登り、学習を深めてきました。

教室で学んだことを、直に目で確かめて活用する。先知後行。良い学習の機会となりました。



国土地理院発行(2万5千分の1地形図より)